

『千屋牛追唄』

(ハイバーババ)

千屋の(ハイ) 博労がよ(ハイ)
追い出す牛は

(ハイバーババ)

角が高出で 背が高うて
額にちよんぼり 菊のぎり
脚はよつびつ 組んだよで

背には恵比寿の こもを敷き
それには萌黄の 油単かけ
四方の隅には 申下げて

首には緋織の 首玉で
東へ行けば 一の宮
西は芸州 久井の市

南は土佐でも 讃岐でも
北は大山 地蔵が市
ぎゅっと握った 袖の下
(ハイバーババ)

付けた(ハイ) 値段はよ (ハイ)
負けらりようか
(ハイバーババ)